



買い物 未来を変える一歩

那覇でエシカル消費イベント

「エシカル消費」という言葉を聞いたことがありますか？「エシカル」は英語で「倫理的な」という意味です。環境や人、社会に優しい製品を買うことです。SDGs（持続可能な開発目標）に掲げる17のゴールのうち、主に12「つくる責任 つかう責任」につながります。県の「SDGs達成のための教育推進事業」の一環として、昨年11月、那覇

市のサンエー那覇メインプレイスで親子体験型イベント「エシカル消費とSDGs」（主催・県教育委員会、開催事務局・琉球新報開発、琉球新報社）が催されました。2日間のイベントに190人が参加し、ゲーム感覚で楽しみながら、「未来を変える買い物」について学び、SDGsの考え方に触れました。



県産品がたくさんあるコーナー。地元企業を応援することもSDGsにつながる

売り場でマーク探し

参加者はまず、受け付けでワークシートをもらいます。ワークシートは、商品についてエシカル消費の自印となる6項目8個のマークと、「森と動物をまもることができる」「沖縄を応援する」「子どもが学校で学ぶことができるようになる」「アブラヤシの森をまもることができる」といった説明を線で結ぶものです。それぞれのマークはSDGsのゴール12以外にも、さまざまなゴールにつながります。

環境や働く人に優しいと認められたマークが付いている商品が置かれている売り場です。参加者は大きなスーパーの中をあちこち巡りながら、カードのある場所を探して集めていました。カードに書かれたヒントを見てワークシートに記入します。

6枚全て集まったら、ワークシートの答え合わせ。合っていたら景品のチョコレートももらえます。売り上げの一部がカカオ生産地の子どもたちの教育の支援に使われるチョコです。

大型スーパーの中の、六つの売り場に、ヒントが書かれたカードが備えられました。売り場は①バナナの売り場②お魚の売り場③洗剤の売り場④県産品の売り場⑤コーヒーの売り場⑥チョコレートの売り場です。それぞれ、

JICA沖縄のパネル展示もありました。クイズなどでSDGsについて分かりやすく紹介していました。参加者は自分ができることを書いてパネルの周りに貼り付けていました。



人々の生活が良くなるしくみがある畑で作られている印

早速バナナの袋にカエルのマークついでるの見つけたよ！



レインフォレスト・アライアンス認証マーク 土壌、水質、森林の保全、そこで働く人の人権の尊重など、より持続可能な農法に従う認証農場で作られた農産物などが使用された製品につくマークです。生態系が守られて、農村の人たちがしっかり生計が立てられるようにしていることが求められます。カエルが健全にすめる環境は良い環境とされているため、カエルのマークとなっています。バナナのほかにコーヒー、紅茶、チョコレートなどの商品に付きます。



水産資源や環境を守ることにつながる



MSC「海のエコラベル」①獲る対象の魚介類が豊富で、なくなる心配がない②海鳥やウミガメ、絶滅危惧種まで獲ったり、生態系を破壊したりしない③国際ルールや国内の法律などを守り適切に管理して漁業を行っていることが審査で認められた漁業で獲られた魚や水産加工品、缶詰、冷凍食品などに付くマークです。



ASC認証マーク 養殖された水産物について、養殖場が水質汚染を引き起こしたり、生態系を乱したり、働く人が悪い条件で働かされたりするなどの問題がないと認められた魚や貝に付くのがこのマークです。



洗剤売り場にヤシの木マークがあった

アブラヤシの木の森を守ることができる



RSPO認証マーク パーム油はアブラヤシの果実から採れる植物油です。洗剤や化粧品、加工食品などに使われています。アブラヤシは熱帯地域で育ちます。需要が高まるにつれ、熱帯の森林が伐採されて農園が造られたり、その地域の先住民と土地を巡りトラブルになったりする例が出てきました。熱帯林やそこに生息する生物の保全、働く人や地域に住む人を大切にしていると認証された農園で生産されたパーム油を使用している商品につきます。

フェアトレード売り場



子どもが学校で学ぶことができるようになる

国際フェアトレード認証ラベル フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。原料が生産される開発途上国では①正当な対価が生産者に支払われない②子どもが学校に行けず働かされる③必要以上の農業が使用され環境破壊や健康被害をもたらす等の問題が起きている場合があります。国際フェアトレード認証は、適正な価格、奨励金の支払い、長期的な取引、児童労働の禁止、環境に優しい生産などを基準に定め、生産者の生活改善と自立を支援しています。代表的なフェアトレード認証製品には、コーヒーやチョコレートなどがあります。

チョコレート売り場

FSC®マーク 環境や動物を守り、森林に依存する人々や林業で働く人の人権を尊重し、適切に管理された森林の樹木や、適切だと認められたリサイクル資源で作られた紙・木材製品に付けられるラベルです。購入することで、適切な森林管理を応援することができます。



森と動物を守ることができる

参加賞のチョコをゲット！うれしいな



参加者の感想

比嘉清翔さん(琉大付属小1年) 楽しかったです。SDGsについてもっと知って賢くなって、良い未来をつくりたいです！ できることをもっと知りたいです。
間心花さん(天久小3年) SDGsって何をするか分からなかったけど、マークを知ることができて良かった。ごみの分別とかもっと頑張って、ほかのこともやってみたいです。

国吉重さん(真嘉比小6年) 二つくらいは見たことあるマークでした。これからマークのある商品を買うなど、できることをしたいです。早速チョコレートを買いました。
梯大樹さん(開邦高1年) 今回マークを示してくれてありがたかったです。結構初めて見るものもあったので、帰って母親に伝えて、買い物のときに意識してもらおうと思いました。

町田琉偉さん=前列左(与那原東小2年) 探すのは大変だったけど、カードを見つけるのが楽しかった。全部初めて見るマークだった。

琉基さん=前列右(5) 楽しかった！
母・清香さん 子どもたちは、これから意識してマークを探したりできるのかなと思います。



沖縄を応援することができます

県産品売り場



商品の「物語」、考えて



SDGsに対する理解を深めてもらうための体験型イベントを、多くの人が行き交う大型商業施設で開催しました。パネル展示や参加型ラリーなどを通じて、日々の暮らしとSDGsの関わりについて新たな気づきと行動につなげてもらえるきっかけの場を提供したいと計画しました。たくさんの商品の中から、地球、人や社会、地域に優しいマークを探そうという内容です。買い物でわくわくしながら、その大切さを感じてもらいたいですね。日ごろ、何を基準に買い物をしているのでしょうか。なんとなく安いからと

か、見た目がきれい、あるいは量が多いからという点で消費行動を取っていることが多いかもしれません。私たちが普段購入している商品は全て、誰かがどこかで作っています。教育も受けられず働かされている子どもたちが生産者だったり、自然環境を犠牲にして作られたりしたものかもしれません。商品の裏側にあるストーリーを考えるとSDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」につながります。SDGsは楽しく実践することが大切です。